



# 彩りとアクセントを国体に！

大会を支えるボランティアたち

国体・障スポ大会の開催には、ボランティアのサポートが不可欠です。それは大会期間中に限らず、選手たちには直接関わらない場合もあります。大会前から雰囲気盛り上げ、私たち市民に「そろそろ国体が近づいて来たな」と気付かせてくれるような取り組みもあります。大会を支えるさまざまなボランティアの皆さんの取り組みと、その思いをリポーターが紹介します。

## にかほ市歓迎装飾事業 「花いっぱい運動」

にかほ市では、選手団など市内を訪れる皆さんを美しい環境で歓迎するため、大会期間中に市内各所を花で装飾する「花いっぱい運動」を行います。

長野県エクセラント高校からマリーゴールドなどの種が無償提供され、育苗作業やプランターを設置するボランティアの皆さんにより市内は赤や黄など、色鮮やかに彩られます。



さんとらっぶで育苗されたマリーゴールド

## 秋田わか杉国体

まであと28日

## 佐々木博和さん さんとらっぶ

種をまく時期がずれたために、ハウス内の温度管理が難しく、種の発芽が悪くて非常に大変でした。1週間から10日くらいで芽が出て、ポットに移植し苗を大きくしました。出荷するころには、ハウス内の温度が高くなり過ぎたため外に出したら、今度は台風による雨風と管理に苦勞もしました。

全部で3,000ポットの提供になりました。普段知り合うことのない方々が苗を取りに来られ、さんとらっぶをアピールする良いチャンスであったと思います。商工会の方々が来られたときには、施設内を見学してもらい、作業に携わったメンバーと一緒に写真を撮りました。

さんとらっぶでは、入所者が丹精込めて栽培している花や野菜の販売もしているので、気軽に立ち寄ってください。



商工会女性部『おもてなし隊』による花植え

## にかほ市商工会

秋田県の商工会女性部員（約2,300人）は国体のために『おもてなし隊』を結成し、各地域の特色を生かした活動をしています。にかほ市商工会女性部では、7月23日に、花植えをしました。現在は各部員が育てていますが、大会間近になったら市内の駅前にプランターを置くことにしています。地域の玄関口の駅前が花でにぎやかになりますよ。

大会期間中はその駅前に案内所を設けて、お茶のサービスやパンフレット類の配布をする予定です。

商業部・サービス部会では合同で、9月20日から11月20日の期間中のスピードくじを計画中です。サービス加盟店を募集しています。

（商工会事務局 戸田さん談）

## ㈱秋田銀行

秋田銀行では各支店で、その地域の国体に協力しています。にかほ市では仁賀保、金浦、象潟の各支店で玄関先に花を飾っています。朝と午後3時に水やりを行い、花を大切に育てています。また、毎週水曜日には全職員がスギッチポロシャツを着用し、国体PRに努めています。

秋田銀行女子バスケットボールチームも国体に出場しますので、皆さん応援してください。

（象潟支店 佐藤支店長談）

秋田銀行象潟支店前のプランター



## 金子真一さん ㈱金子製瓦所

破碎した瓦を何かに使えないかと、植物の培養土に使用してみました。農家の方の協力を得て、土の割合を変えたり試行錯誤した結果、植栽の際に土と破碎瓦を3層構造にすると、水はけが良く雑草が生えにくくなることが分かりました。

今まで産業廃棄物として処分していたのですが、環境に配慮し、ガーデニング、道路舗装、公園などの資材として使用し、ヒートアイランド現象対策などにもつなげていきたいと思っています。



金子製瓦所さんが無償で提供した破碎瓦再利用の培養土



## 平沢地域婦人会

婦人会では一人一役を目標に運動しています。昨年のリハーサル大会の時、婦人会のTシャツを作製し、その後いろいろなイベントで着用しています。ことしは、集落ごとに会員全員でスギッチと婦人会をPRしたうちわを作りました。

前回の秋田国体では、先輩の方々が白い割烹着を着てボランティアをされたそうです。先輩方に負けないくらいの意気込みで「国体のために」と会員の気持ちが一つになりました。出店に協力する会員も多く、国体にかかわる活動は会がまとまるきっかけとなって良かったと思います。

